

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

まるで絵画のような、澄み切った青空に出会える季節になりました。

みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

今年のゴールデンウィークは、かねてからの念願が叶い熊野に行ってきました。大阪から熊野というと、地図上では近いように見えますが、「陸の孤島」である熊野への道のりは遠く、紀伊半島の山道を車で縦断するか、海沿いを南下して山の方に入るしか無く、どちらにしてもかなりの時間を要します。カーナビに従って大阪から奈良方面へ行き、まずは十津川村を目指しているつもりが、気が付くと「天川村」の案内標識・・・「道が違うかも？」と気づいた時にはすでに遅く、天川村に辿り着きました。前日の友人の呟き「天川村も行ってみたいな」が、予期せず現実化してしまったので、旅行中は意識して、楽しく快適で前向きな会話をすることにしました。

天川村から十津川村方面へ抜ける道は、車1台しか通れないような道が延々と続きます。友人の華麗な運転でようやく十津川村の「清納の滝」に到着。とても素晴らしく気持ちのよい場所でした。この旅でナンバー1のお気に入りスポットです。滝を1時間ほど満喫したあと、玉置神社へ立ち寄り、夕暮れ時に「湯の峰温泉」に到着しました。

湯の峰温泉はホッコリした小さな温泉街でした。素泊まりを予約していたので、途中のスーパーでさつまいもやソラマメや卵を購入し、「湯筒」という調理用の温泉で茹でて夕食にしました。茹でている間に自分たちも温泉につかりましたが、硫黄泉で肌触りがまろやかな気持ち良い温泉でした。アツアツに茹で上がった野菜や卵はとても美味しかったです。

翌朝は、「熊野本宮大社」へ行きました。熊野古道にはいくつかのルートがありますが、大阪本社の近所にある「八軒家船着場」を出発地点とする紀伊路がメインルートとされており、昔の人は「蟻の熊野詣で」といって、まるで蟻の行列のように大勢の人々が本宮大社を目指したそうです。車とはいえ、念願かかって最終到着地点の本宮大社に到達したことに、感慨深い気持ちになりました。

その後「花の窟神社」へ立ち寄り、帰路につきました。今回は1泊2日という強行旅で、写真でよく見かけるような山中の古道を歩く時間も無く、ほとんどの時間は車移動になってしまいました。

みなさまが行かれる際には2泊以上されることをおすすめしたいと思います。

梅雨入りまで、あともうしばらくですね。

気持ちのよい初夏の季節をご満喫いただき、健康で快適な毎日をお過ごしくださいませ。



清納の滝。マイナスイオン充滿。



野菜や卵をゆでる湯筒。



大斎原（おおゆのはら）。
明治時代までは、この鳥居の奥に本宮があったそうです。
水害により現在の場所に移築



花の窟神社。巨岩をご神体としています。